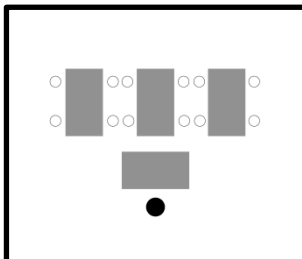
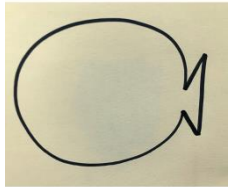

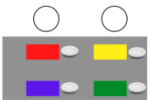




指 導 案

一般社団法人全国乳幼児遊び研究協会

西暦 2022 年 7 月 25 日 (月 曜日)				天候 (晴れ)	
受講者氏名 : 稲川 なつみ					
対 象	年 齢 : 3 歳児 (12 名)		子 ど も の 姿	・ 年長児の水族館ごっこに招待してもらい、とても興味深く見ている。 ・ 海の生き物に関する図鑑や絵本を楽しんで見る姿が見られる。	
ね ら い	・ 海の生き物に興味を持つ。 ・ 絵画や製作に興味を持ち、ちぎった紙を貼って作品にする事を楽しむ。		内 容	・ 魚の手遊び「〇〇」をする。 ・ 「海の生き物のちぎり絵」を作る。	
時 間	環境構成・準備物		予想される子どもの姿		講師・保育者の援助
10 : 00	<div>・ 保育者の前に集まる。</div> <div></div> <div>● ……保育者 ○ ……子ども</div>		<div>◎手遊び「〇〇」をする。</div> <div>・ 保育者を見ながら、手遊びに出て来る海の生き物の動きを真似する。</div> <div>・ 出て来る海の生き物が何か想像性を働かせながら、保育者や友だちと手遊びを楽しむ。</div> <div>・ 手遊びに出てきた海の生き物を保育者と友達と振り返り次の活動を楽しみに期待する。</div>		<div>◎手遊び「〇〇」をする。</div> <div>・ 子ども達が分かり易いように動きを大きくしながら見本となる。</div> <div>・ 「次は、何でしょう？ヒントは」と期待を持てるような声掛けをし子ども達の想像性を膨らませられるようにしながら手遊びを進める。</div> <div>・ 手遊びの振り返りをした後に、今から海の生き物を製作する事を伝え、子ども達が活動に期待を持てるようにする。</div>
10 : 05			<div>◎製作「海の生き物のちぎり絵」を作る。</div> <div>・ 何を作るか考える。</div>		<div>◎製作「海の生き物のちぎり絵」を指導する</div> <div>・ 何を作るか問いかけながら、「先生は、何を作ろうかな？」と子ども達と一緒に考える事を楽しむ。</div>

時 間	環境構成・準備物	予想される子どもの姿	講師・保育者の援助
10:15	<p>【材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台紙画用紙白：12 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・折り紙 1/2：赤 24 枚 ・枠を描くペン ・糊：12 個 ・皿：12 個 ・鉛筆：1 本 ・手拭き：12 枚 ・目玉シール：12 個 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を作るか決まらない子どももいる。 ・保育者の問いかけに答えながら自身が作りたいものを決めていく。 ・保育者の説明を聞きながら製作を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ちゃんは、海に行った事ある？」「水族館は行った事ある？」などの質問を元に何を作るか一緒に考えていく。 ・会話をしながら子ども達一人一人の課題を導く。 ・作り方の説明を見本提供しながら進める。
10:20		<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に自身が決めた海の生き物の外枠を描いてもらう。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達一人一人の思いを受け止め海の生き物の枠を描いていく。
10:30	<p>・前の机に 1/2 サイズに切った折り紙を置いておき選びやすい環境を整えておく。</p>   <p>【きっかけ】</p> 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の机へ行き、好きな折り紙 2 枚を取り席へ戻る。好きな色の折り紙を選びちぎる。 ・折り紙の色が決まらない子どもがいる。 ・保育者と話をしながら、色を決断する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皿を受け取り、ちぎったものは、バラバラにならないようお皿に入れる。 ・ちぎれない子どもがいる。 ・ちぎれた事を喜ぶ。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人 2 枚折り紙を取り、席に着くように声を掛ける。 ・色選びに戸惑う子どもには、見守りつつ会話を楽しみながら色を選べるようなヒントを提供する。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちぎった物をいれる皿を配り、ちぎったら皿の中に入れるよう促す。 ・ちぎれない子どもへは、きっかけを作って渡したり、ちぎれている友達がどのように行っているか観察したりと個々に合わせた対応を行う。 ・ちぎれた子どもに対して、喜びを一緒に分かち合う。

時 間	環境構成・準備物	予想される子どもの姿	講師・保育者の援助
10 : 40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一個糊を配る。 ・ すぐに手が拭けるよう一人 1 枚手拭きを配る。 <p>【糊を使う時に約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 糊は“おかあさん指”ですくう。 ・ たくさん糊を付けるとベタベタになってしまう。 ・ 糊のついた手で他の所を触るとそこもベタベタになってしまう。 ・ 糊を使ったら手拭きで拭く。 ・ 困ったら保育者を呼ぶ。 <p>【完成図】</p>	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 袖をまくる。 ・ 袖を自分でまくれないうちの子がいる。 ・ 保育者と糊を使う時の“お約束”を確認する。 ・ 糊付けをする。 ・ たくさん糊を指にとるうちの子がいる。 ・ 糊の感触を嫌がるうちの子がいる。 ・ スプーンで糊付けをする。 ・ 手拭きで手を拭く。 <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成した子どもから保育者に名前を書いてもらい目玉シールを受け取り張り提出する。 ・ 手を洗う。 <p>◎保育者の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の椅子に座る。 ・ 明日、今回作った海の生き物で魚大会をする事を聞き、楽しみにする。 	<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 糊付けをする事を伝え、糊が付かないように袖を捲ると良い事を伝える。 ・ 自分でまくれないうちの袖をまくる。 ・ 糊を使う時の約束を子ども達に分かり易く説明をする。 ・ 子ども達の様子を見守る。 ・ 適量が難しい子どもには実際に見せて一緒に遊びながら練習する。 ・ 様子を見る。 ・ 無理強いせず、難しい時には、スプーン等を提供する。 ・ 糊付けを終えた子どもは手拭きで手を拭くよう促す。 ・ 完成した作品を受け取り、名前を書く。子どもに目玉シールを渡し、貼ったのを確認してからロッカーの上で乾かす。 ・ 手を洗ったら椅子に座り待つように促しながら、片付けをする。 ・ 全員着席している事を確認する。 ・ 明日今回作った海の生き物で魚釣り大会をする事を伝える期待を持てるようにして活動を終了する。
10 : 50			
10 : 55	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目玉シール 12 個 ・ 終わった順に名前を裏に保育者が鉛筆で書く。 ・ 材料の片付け、床の掃除、テーブル拭きを行い環境を整える。 		
11 : 00			
【指導案を作成した感想、考察】			